

小语种日语：二级阅读7 PDF转换可能丢失图片或格式，建议
阅读原文

https://www.100test.com/kao_ti2020/146/2021_2022__E5_B0_8F_E8_AF_AD_E7_A7_8D_E6_c105_146537.htm 1) ひとりの子どもです。仕事で疲れきって、家ではごろごろしてテレビばかりをている父はあまり存在感がない、まるで透明人みたいだ、というこの文章がありました。（これ）ではいけない。子どもたちに、父がいている姿をせたらどうか。そういう意もあって、ある母は子どもをれて、父がく工へ行くのです。その子が参のをきました。「友のおとうさんが、どこかのさんだとか、放送局につとめているとかいうとき、私はいつもだまっていました。「わたしのおとうさんは工のコックさんだ」というのが、なんだか（はずかしくてならなかった）のです。でも、わたしは、きょうからそれが（）いえるようながします」その子は初めて、白いコック帽をかぶった父のいている姿をます。野菜サラダを作っている。びっくりするほど早い手つきでてきぱきと仕事をすすめている。「今まで、あんなお父さんをたことがありませんでした。何かよその人のようながするくらいでした。でも、やっぱりわたしのおとうさんでした。おとうさんは、ずかしそうなどちっともしていません。わたしだけが、何でずかしがっていたのかと思うと、何かわるいことをしていたようながしました」お昼のサイレンがる。大の工さんたちが集まる。「大の工さんたちが、待ちえていたように食べているのをと、わたしまでなんだかうれしくなりました。（みんな）残さず食べてもら

えるかと、じっとそれをていました」を踏んだことで、子どもの父がわるのです。みんなが残さずに食べてくれるだろうか？そう思ってじっとしている子の（心の音がわってきます）。「お父さんのく所」というで、子どもは家にいる父とはの父に出会うことができたのです。注1 ごろごろする：特に仕事もしないでぐす。注2 参の：学したときのことをいた文章注3 手つき：手のかし方注4 てきぱきと：切にどんどん仕事をめていくようす注5 待ちえる：すぐにできる姿で待つ注6 父：父についての方1 「これ」は、何を指すか。1 父がいえでテレビばかりしていること2 父が仕事で疲れきっていること3 子どもが父の存在を感じないこと4 子どもが父のく工へ行くこと2 「ずかしくてならなかった」のは、なぜか。1 テレビばかりしている父に料理ができるとは思えなかったから2 コックさんなのに、家では疲れていて全然料理をしようとしなないから3 コックさんといっても、放送局ではなくて工のコックさんだから4 友にいえるような立派な仕事を父がしているとは思えなかったから3（ ）に入る当なことばをびなさい。1 平で2 ますます3 がんばれば4 じょうずに4 「よその人のようながするくらいでした」とあるが、それはなぜか。1 家で何もしない父が生き生きと仕事をしていたから2 子どもが来たのに父がして仕事をしていたから3 父が会社のか放送局の人のようにえたから4 父に白いコック帽があまり似合っていなかったから5 「わるい」というのはここではどんな意味か。1 友にたいしてずるい2 父に感したい3 友にしてひきょうだ4 父にもうしわけない6 「みんな」は何を

指すか。 1 工さんたち 2 コックさんたち 3 子どもたち 4 工の昼食 7 「心の音がわってきます」とあるが、ここではどういうことか。 1 子どもの心の音が工の人にこえること 2 どきどきしているようすがんでいる人に分かること 3 はきはきしているようすがんでいる人に想像できること 4 びっくりしているようすが工の人に感じられること 正解 1—3 2—4 3—1 4—1 5—4 6—4 7—2 (2) 液体としてのH₂Oを表すとして、日本には「」と「水」がある。この合、というもの、水というものの区がまずはっきりとあって、それにしてそれぞれ「」および「水」という名前がつけられているというふうに普通考えられる。これは、ごく当たり前の方であり、たしかにそういう面もある。しかし、よく考えてみると、これによってすべて明がつくわけではないことがわかってくる。(この方についた合)、あらかじめ存在するとられるとは一体なんか、また、水とは何かを考えてみると、は温かいもの、そして水は冷たいものという程度の漠然としたことはいえても、では、何度以上がで、何度意以下が水かということになると、はっきりとめることはできない？つまり、自然界には、水との明な区分というものは本来存在しないのである。注1？」および「水」：「」と「水」注2あらかじめ：もともと、はじめから注3漠然とした：はっきりしない「この方についた合」とあるが、「この方」とはどのような方か。1日本には液体のH₂Oを表すとして「」と「水」があるという方2と水の区がはっきりとあって、それぞれに名前があるという方3は温かいもの、水は冷たいものであるのが当た

り前であるという方 4 自然界には、水との明な温度の区分は本来存在しないという方正解 2 (3) 「何杯食べても四百か」男は、ラーメン屋の立て看板にめをやると、すぐに店の中に入った。男は若く、体格が良く、かなりの大食。ラーメンを一杯、く食べると二杯目に入った。「お客さん、どんどん食べてください」やがて、三杯目。これもクリア。(「まだまだしないで、もっとたべてもいいんですよ」)「それにしても、(こんなことでよく商が成り立つな)」男は四杯目に入った。だが、さすがに全部食べることはできなかった。「もう腹いっぱい。四杯でやめておくよ。お勘定!」「千六百です」「えっ、四百じゃないんですか」「お客さん、外の看板をみてくださいよ」「おかしいな」と思い、看板を見ると(何杯で食べても一杯四百)のまちがいだった。注1 体格が良い: 体が大きくてしっかりしている注2 大食: たくさん食べる人注3 成り立つ: できる 1 「まだまだしないで、もっとたべてもいいんですよ」とあるが、店の人はなぜこういったと考えられるか? 1 客が食べれば食べるほどそれだけ自分がもうかると考えたから 2 客がしていると思い、もっとすすめようと思ったから 3 客がとてもおなかがすいていてかわいそうに思えたから 4 客がラーメンをどんどん食べる子が持ちよく考えたから 2 男が「こんなことでよく商が成り立つな」と考えたのはなぜか。 1 その店の人が自分に理に食べさせようとしたから 2 その店のラーメンは何杯食べても四百だと思ったから 3 その店ではラーメンが一杯四百しかなかったから 4 その店で食べたラーメンがあまりおいしくなかったから 正解 1

— 1 2 — 2 100Test 下载频道开通，各类考试题目直接下载。
详细请访问 www.100test.com